

校長室だより第37号（令和8年1月13日）

2026年、令和8年になり、約2週間が過ぎました。「もう2週間もたったのか。」と時間の流れの速さに戸惑うばかりです。この調子で時間が経過すると、1年などすぐに終わってしまうかもしれません。特にこの3ヶ月に限れば、1月は「行く（1く）」、2月は「逃げる（2げる）」、3月は「去る（3る）」と昔から言われているように、あっという間に過ぎていくことでしょう。だからこそ、子ども達と過ごす日々を大切にしていきたいと思います。まずは大変遅くなりましたが、新年の挨拶です。

明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひします。

小倉小学校にかかるすべての皆様のご多幸をお祈りします。

特に小倉小学校のすべての子ども達が、明るく元気に学校生活が送れるようにと願っています。

さて、冬休み明けの子ども達の様子です。

1月6日の朝、いつものように校門に立って子ども達を迎える。「おはようございます。」と元気に声をかけても、小さな声で「おはようございます。」という感じで、元気なあいさつが返ってきません。それも一人ではなく、多くの子どもたちがです。どうやらお正月にあちこち出かけて疲れているようでした。長期休業明けに学校に来ただけでも偉いと思っているので、明日以降に期待しようと思いました。少しずつ、声は大きくなっていき、3連休明け（1月13日）にはいつもの元気なあいさつが戻ってきました。

全体的にはとても落ち着いています。学習の時間にはきちんと席に着き、教師の話を聞くことができます。休み時間には校庭で元気に遊んだり、教室で友達とおしゃべりしたりしています。休み時間が終わった後の授業への切り替えも上手にできていて感心します。先日、午前中にいらしたお客様にも、授業に集中する様子や切り替えがきちんとできている様子を褒めていただきました。校長として大変うれしい出来事でした。

今年度もあと50日余り。6年生は卒業式まで44日です。きっとあっという間に過ぎてい

くことでしょう。だからこそ、一日一日を充実させていきたいと思います。